

2 学年（前期） 美術 評価・評定計画

学習単元・内容	学習のポイント
オリエンテーション	授業のきまりを確認し、きちんと授業を受ける心構えをしよう。
文字絵	レタリング字典を見ながら、その漢字に関連するような絵を付け加えられる漢字を探そう。 付け加えた絵を強調させることができるようなデザインや配色を工夫しよう。
立体カード	立体カードの基本的な仕組みを理解し、自分でアレンジしたり組み合わせたりして、立体カードの特徴を生かしたデザインをしよう。 画用紙の配色を工夫しながら、切ったり折ったりする作業を丁寧に行い、作品を美しく仕上げよう。
鑑賞	それぞれの作品の良さを味わい、どのような所が良いと思ったのかなど、自分の言葉で具体的に表現しよう。

評価・評定について				
評価事項	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評定に関する観点の割合	25%	25%	25%	25%
評価事項	提出物 授業態度 自己評価シート	授業作品	授業作品 定期テスト	レポート 定期テスト

備考

- ・授業作品、ファイル、レポートなどの提出物の提出を忘れないようにしましょう。
- ・テストや提出物、作品、授業での取り組みなどがほぼ 100%であれば評定が9および10となります。また、評価・評定のための資料がほとんど得られなかった場合は2あるいは1となります。